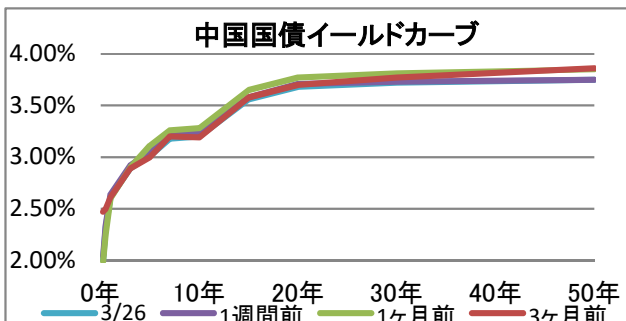
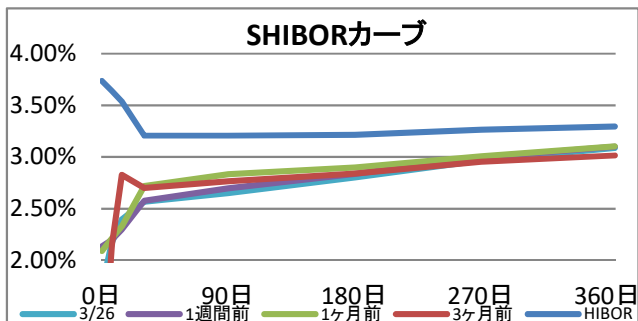


①市場概況

基準レート		2021/3/26	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.5376	0.0278
	JPY/CNY	5.9874	0.0109
SHIBOR	3M	2.6500%	-0.0480%
国債利回り	10年	3.20%	-0.04%
上海総合指数		3,418.33	+13.67



(1) 概況

欧州での新型コロナウイルス感染再拡大やワクチン供給に対する懸念に加え、中国における人権問題に関する欧米との対立等から株式市場が一時的ながら世界規模で調整したものの、米国でのワクチン接種拡大や経済回復状況から高値圏で底堅く推移。そのような中、中国金融市場は、欧米との緊張の高まり等もあって下落したものの、国外からの資金流入等により反発し、国債利回りも総じて低下し、外為市場では人民元の下落が続いている。

中国人民銀行金融政策委員会において、マクロレバレッジ水準の安定化や中小企業向け融資の積極化、金利、外国為替の市場化や対外開放政策等が確認されている。また、中国人民銀行は中国銀行保険監督委員会とともに事業用貸付が違法に不動産投資の原資になることを防止するための通知を出し、中国銀行保険監督管理委員会は商業銀行負債質量管理法の施行により商業銀行の過度なレバレッジ抑制策を強化している。

(2) 金融調節

リバースオペ期日500億元に対し、新規リバースオペ500億元を実施し、中立的な調整姿勢を継続している。3月1日以来連日100億元の新規オペを続け、3月第2週以降はMLFを含めた週間ベースでの中立調整を続けている。22日に公表されたLPR（1年3.85%、5年以上4.65%）も2020年4月から11か月連続で維持されている。

(3) 主な経済指標

工業部門利益（1-2月）は、前年比+178.9%の高い伸びとなった。新型コロナウイルス感染対応により大きく落ち込んでいた前年（2020年、-38.3%）のみならず、一昨年（2019年、-14.0%）比でも+72.1%の高い伸びとなっており、春節休暇で帰省が制限されたことに伴う工場等での稼働水準の高さにより製造業を中心に高い伸びとなった模様。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.7620%	1.7000%	1.8500%	
1W	2.1730%	2.2600%	1.9700%	1.5000%
2W	2.3970%	2.4000%	2.9500%	2.3500%
1M	2.5690%	3.0000%	19.0000%	2.4000%
3M	2.6500%	3.3500%	2.5500%	2.5300%
6M	2.8020%	3.3000%		2.7800%
9M	2.9660%			2.8700%
12M	3.0860%	3.1500%	3.2000%	3.0500%

四半期末が近づいているものの、市場内の流動性は充足された状況が続いており、金利水準を含めて極めて安定した状況が続いている。ターム物は1ヶ月の2.60%前後の出合いを除き限定的となっている。

NCDは、週半ばにかけて金利水準がやや低下したものの、世界的な経済回復や国内資産市場の動向も考慮して金融政策の緩和状況が引き締め方向に変更されるとの見方が根強く、四半期末要因もあってターム物の金利水準は下げ渋る状況が続いている。ターム物の金利水準は、1ヶ月が2.40%前後、3ヶ月物が2.5%台、6ヶ月が2.7%台、1年が3.0%台で活発な取引が続いている。

(2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	0.01%	0.02%
1W	0.03%	0.04%
1M	0.12%	0.15%
3M	0.30%	0.35%
6M	0.40%	0.50%
12M	0.60%	0.65%

資金需給状況に変化はないものの、四半期末要因から金利水準は低下し難しい状況となっており、ターム物の金利水準は、1ヶ月は0.14%前後、3ヶ月は0.30%前後での取引が続いている。

③ 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.00%	2.12%	2.57%	2.71%	3.33%
6M	2.32%	2.38%	2.80%	2.90%	3.52%
1Y	2.61%	2.64%	2.98%	3.02%	3.66%
3Y	2.89%	2.99%	3.43%	3.56%	4.28%
5Y	3.01%	3.29%	3.58%	3.74%	4.50%
10Y	3.20%	3.51%	3.90%	4.08%	4.85%

債券市場では、引き続き狭いレンジ内での方向感のない取引が続いているものの、欧州での新型コロナウイルス感染再拡大や欧米との人権問題に関する対立等に加え四半期末が近づいていることもあって、利回りは総じて小幅に低下している。

イールドカーブは利率債では変化がなかったものの、信用債では四半期末要因からデフレーションの短期化によるスティーピングが進み、クレジットスプレッドも長めの期間の信用債利回り上昇による拡大が続いている。

④ 先物為替市場

	USD / CNY
1W	38.5 / 39.5
1M	152.5 / 153.5
3M	448.0 / 452.0
6M	875.0 / 883.0
9M	1295.0 / 1307.0
12M	1720.0 / 1731.0

対ドル基準レートは、6.5376と前週末比+278pipsのドル高元安、対円基準レートは5.9874と同+109pipsの円高元安と、引き続きドル高を反映した人民元安での設定が続いている。米国債利回りの景気回復期待による高止まりからドル高傾向が続いているものの、人民元高期待やレベル感からのドル売りが一定の歯止めとなっている。

先物は、人民元の金利水準がやや低下したことからスワップ幅も縮小傾向にあるものの、1年物でも1700台での取引が続く小幅な値動きに終始。

⑤ 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.45%		2.16%
6M	2.51%	2.80%	2.21%
9M	2.55%	2.88%	2.22%
1Y	2.58%	2.98%	2.26%
3Y	2.78%	3.31%	2.45%
5Y	2.96%	3.51%	
7Y	3.09%	3.65%	
10Y	3.24%	3.80%	

債券利回りが低下を続けていることから、スワップ金利も前週に続き小幅に低下している。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドも、前週同様に短期金利の低下が続いていることもあって小幅なが縮小を続けている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。